



第13話 ～夜料から医療までお役立ちです～

主人公の岩井耕太君は、現在地元の小学校に通う男の子。将来新聞記者になるため、地元の農畜産物の魅力について、勉強中です。農業にはまだまだ知られていないことがたくさん！今月は繭姫が登場。絹の原料として重宝されてきた繭。しかし繭の魅力はそれだけではありません。くらしを支える繭のこと、もっと知ってください！

ゆつくり見学
してってくださいね

繭姫 (まゆひめ)

絹って
光沢があつて
キレイだね!
初めて見たよ

絹の繊維は
三角柱状に
なっていて

プリズムのように
光を屈折拡散させて

真珠のような
美しい光沢を
放っているの

ちなみに
繭1個からとれる
絹の繊維は
約1000mです

それを5本×10本ほど
繰り合わせて
糸にするのですよ

着物の生地は
1着分が12m
重さ700g
ですの

三千個の
繭が必要に
なります

約3000個

そんなに
たくさん
必要なの!?

そりゃ高価に
なるよ……

だいぶお手頃に
なりましたが
昔は高貴な人の
礼装でしたからね

絹は保湿と放湿
そして保温に優れた
素材なので
夏はサラサラ
冬はポカポカです

さらに

抗菌作用もあり
皮膚をやさしく
保護してくれます

- ・体臭の原因菌の増殖を防ぐ
- ・アトピー予防

さらに
ワキガ臭(しゅう)
予防にも
効果が……

繭は
“衣料”から
“医療”まで
役に立つん
だね!

オヤジギャグ
ですね!!